



未来へつなぐ 米百俵の精神

岡長岡市米百俵財団（ミライエ長岡企画推進室内）
☎86・6008

募集 第7期生 みんなで楽しく学ぼう！ 米百俵未来塾

芸術やスポーツ、国際交流などのテーマを通して、自分の可能性を広げる7回の連続講座です。人材育成に取り組む企業や団体と連携し、学びの場を提供します。
 場ミライエ長岡など 定40人程度 抽選 対小学4年生～中学3年生 無料 申5月12日(月)～6月11日(水)に公式ホームページ(右)で

開催日	分野	講座タイトル
8月5日(火)	米百俵	学ぼう!「米百俵」の精神～長岡の先人から学ぶ未来を切り拓く力～
8月20日(水)	芸術	文学座・俳優さんと楽しくトレーニング! 伸ばそう“伝える力・感じる力”
9月20日(土)	国際	世界にはいくつ言語があるの? 世界の言葉を学ぶ意味を考えよう!
9月27日(土)	チーム力	チームでミッションをクリアしよう! 最高のチームになる秘訣! (仮) 上写真
10月18日(土)	考える力	デザイン思考ワークショップ
11月29日(土)	スポーツ	オリンピック金メダリスト高橋礼華さんから学ぶ「夢を叶えるために大切にしていること(仮)」
12月13日(土)	米百俵	未来の自分を探そう! ～米百俵未来塾を振り返って～

高校留学奨学生 募集

A F S 日本協会またはY F U 日本国際交流財団の留学プログラム参加費の2分の1（70万～115万円）を奨学金として給付します。
 定3人（面接で選考） 申5月12日(月)～8月22日(金)

中小企業従業員・農業者のための派遣研修助成制度

派遣研修に参加する人の自己負担額の一部を助成します。
 対次のいずれかに該当する人が、指定の団体が実施する4日間以上の研修に参加する経費①市内在住の農業者②市内在住または市内に本社、事業所がある中小企業の従業員 申派遣開始日の1週間前まで

6/7 (土) 米百俵デー ミライエ講演会

市は、国漢学校開校の日にちなみ「米百俵デー」を制定。「米百俵」の精神を広め、次世代につないでいきます。
 時午後2時～3時30分 場ミライエ長岡 内米百俵未来塾活動報告、記念講演会 講(株)オリイ研究所所長・吉藤オリイさん 定100人 抽選 申5月9日(金)～6月1日(日)に公式ホームページ(右)で

サイボーグ時代の人生戦略
一人と機械が融合する時代をどう夢中に生きるかー
遠隔操作ロボット「OriHime」開発者

吉藤オリイさん

米百俵プレイス西館でも活躍中!



「孤独の解消」を研究テーマに、分身ロボット「OriHime」を通して病気や障害などで移動が困難な人の世界を広げた経験から、想いを実現するために必要なことを伝えます。



未来を担う子どもたちの育成にご支援をお願いします

米百俵財団の事業は市民や企業のみならずからの寄付によって成り立っています。寄付は、次代を担う人材の育成に活用。タイアップ商品の売り上げを寄付いただく「企業サポーター制度」もあります。ご協力をお願いします。

お知らせ

市政だよりを
2色刷りにしました

発行経費の見直しや読みやすさなどを検討し、今号から中面を2色刷りで発行します。ご理解をお願いします。
 岡広報・魅力発信課☎39・2202



こども計画を策定

子ども・若者が 幸せに暮らせる 社会の実現へ

岡子ども政策課☎39・2300

子どもや若者の権利を尊重し、健やかな成長を社会全体で後押しする「こどももんなか社会」の実現のため、新たに「長岡市こども計画」を策定しました。
 市はこれまでも「第2期長岡市子育て・育ち、あい、プラン」に基づき、さまざまな事業を展開してきました。本計画ではさらに、少子化対策や社会生活を円滑に営むための子ども・若者の育成支援をプラス。ライフステージに応じた切れ目のない支援の充実を図ります。



▶「10年後の長岡がどんなまちになってほしいか」をテーマに、小・中学生が意見を出し合ったワークショップ(2月24日)

「長岡市子ども・若者の権利条例」を制定しました

子ども・若者の権利を尊重し保障することで、誰一人取り残されことなく、自分らしく健やかに成長することを目指す条例です。詳しくは同時配布の議会だよりで。
 岡議会総務課☎39・2244

計画の詳細はこちら



子どもの意見を尊重
基本目標に反映

策定に当たってはアンケートなどにより、市内の小・中・高校生や子育て世帯などの考えを調査。子どもたちから「みんなが幸せに生きるために必要なこと」を挙げてもらい、その意見を基本目標に反映しています。
 今後子どもや子育て世帯の声を聞き、当事者の視点に立った施策を推進。未来を担う子ども・若者の夢や希望を実現する社会を目指します。



与板の新交流拠点、愛称決定!

いこいね☆よいた

岡地域振興戦略部☎39・2260、
与板支所地域振興・市民生活課☎72・3201



「☆(北極星)」は与板生まれのビール醸造人・中川清兵衛が携わった北海道の開拓使麦酒醸造所(現・サッポロビール株)が由来。与板の未来を切り開くという願いも込めています。
 みなさんから愛され、親しみを持って呼んでもらえるとうれしいですね。与板の人はもちろん、いろいろな地域の人が集まる施設になってほしいです。

◀愛称考案者の三浦賢弘さん(与板地域在住)

与板支所の跡地に整備を進めている、新しい交流拠点施設の愛称が決まりました。公募した1、159件から候補を絞り、与板地域の住民による投票を実施。「行こうね」の与板の方言「いこいね」と、この施設「いいね!」の意味のほか、地域の「憩い」の場になるようにとの想いが込められています。
 施設は今年度中にオープン予定。住民の多様な交流と活動を生み出し、地域活性化につなげます。